

2023年3月期第2四半期 決算説明資料



トナミホールディングス株式会社

2022年11月24日

1

2023年3月期第2四半期 連結決算概要

2

2023年3月期 通期連結業績予想

3

第22次中期経営計画の進捗状況



1

2023年3月期第2四半期 連結決算概要

2

2023年3月期 通期連結業績予想

3

第22次中期経営計画の進捗状況



2023年3月期第2四半期連結業績は、営業収益「増収」、営業利益「減益」

営業収益

703億円、前期比較6.9%増、約45億円の増収

総合的なロジスティクスサービスの充実により小口物量が伸長と、
3PL事業の安定拡大やM & Aの寄与もあり増収。

営業利益

35億円、前期比較1.8%減、約6千万円の減益

業務効率化による生産性向上と外注業務の内製化等のコストコントロール
の強化に努めたものの、外注費及び燃料価格高騰の影響により、減益。

2023年3月期第2四半期 連結決算の概要

営業利益率は前期5.5%から当期5.1%に減少

(単位：百万円、%)

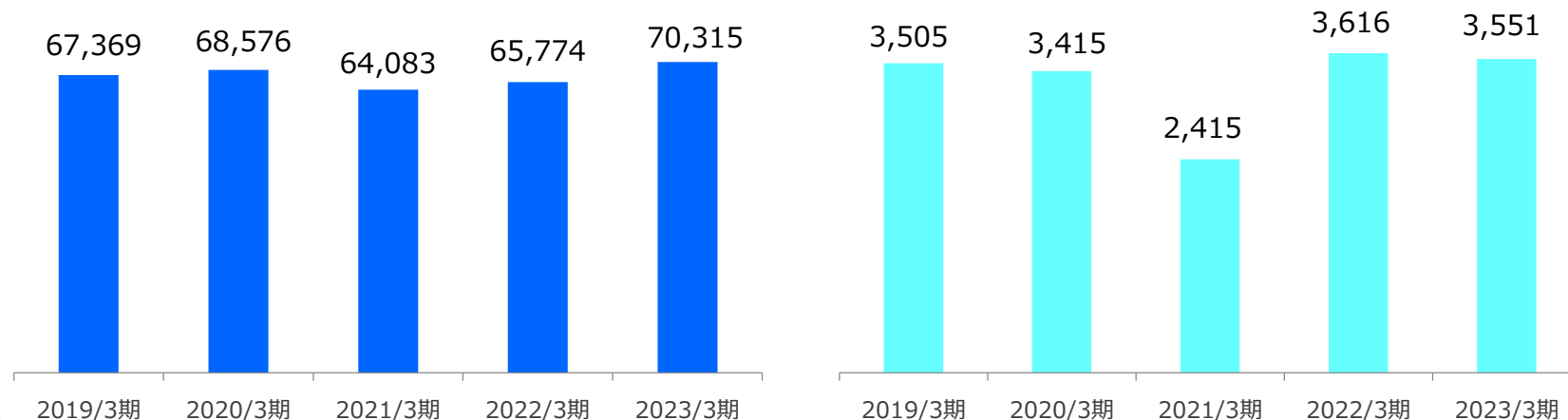
	2019年3月期 第2四半期	2020年3月期 第2四半期	2021年3月期 第2四半期	2022年3月期 第2四半期	2023年3月期 第2四半期	前年同期 増減率
営業収益	67,369	68,576	64,083	65,774	70,315	6.9%
営業利益	3,505	3,415	2,415	3,616	3,551	△1.8%
営業利益率	5.2%	5.0%	3.8%	5.5%	5.1%	△0.4P
経常利益	3,650	3,687	2,727	3,885	3,959	1.9%
経常利益率	5.4%	5.4%	4.3%	5.9%	5.6%	△0.3P
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,297	2,461	1,654	2,689	2,768	2.9%
当期純利益率	3.4%	3.6%	2.6%	4.1%	3.9%	△0.2P

【営業収益】

(単位：百万円)

【営業利益】

(単位：百万円)



2023年3月期第2四半期 セグメント別決算概要

物流関連事業は前期比較6.7%増、また、情報処理事業が前期比較17.3%増

(単位：百万円)

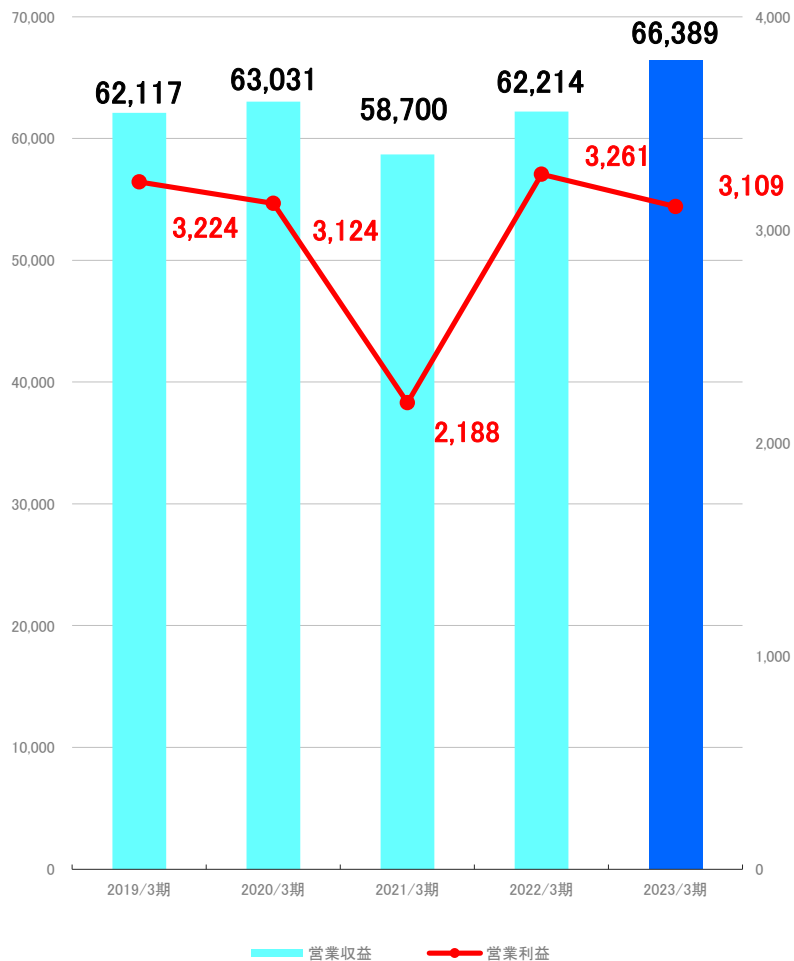
	2022年3月期 第2四半期連結累計期間		2023年3月期 第2四半期連結累計期間		増減	
	営業収益	構成比	営業収益	構成比	金額	増減率
物流関連事業	62,214	94.6%	66,389	94.4%	4,174	6.7%
貨物自動車運送事業 及び貨物利用運送事業	(43,794)	(66.6%)	(46,454)	(66.1%)	(2,660)	(6.1%)
倉庫事業	(16,385)	(24.9%)	(17,043)	(24.2%)	(658)	(4.0%)
港湾運送事業	(2,034)	(3.1%)	(2,891)	(4.1%)	(856)	(42.1%)
情報処理事業	1,373	2.1%	1,610	2.3%	236	17.3%
販売事業	1,131	1.7%	1,183	1.7%	51	4.6%
その他	1,055	1.6%	1,132	1.6%	77	7.3%
営業収益合計	65,774	100.0%	70,315	100.0%	4,540	6.9%



2023年3月期第2四半期 セグメント別決算概要

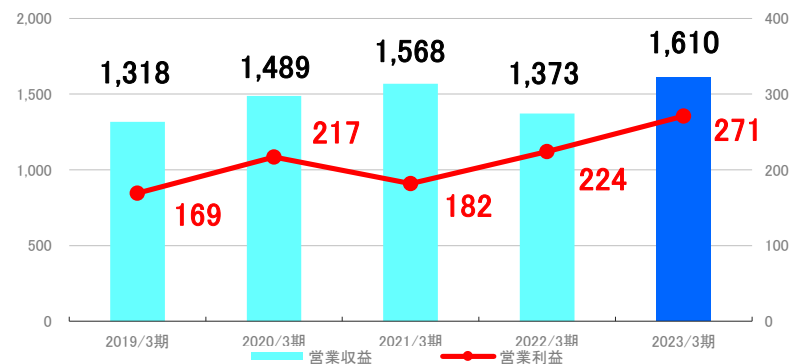
物流関連事業

(単位：百万円)

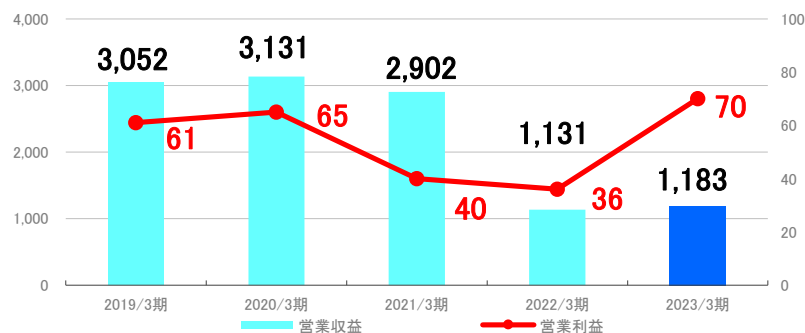


情報処理事業

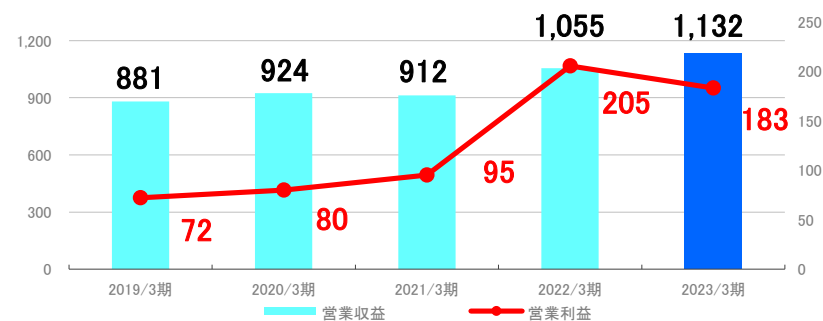
(単位：百万円)



販売事業

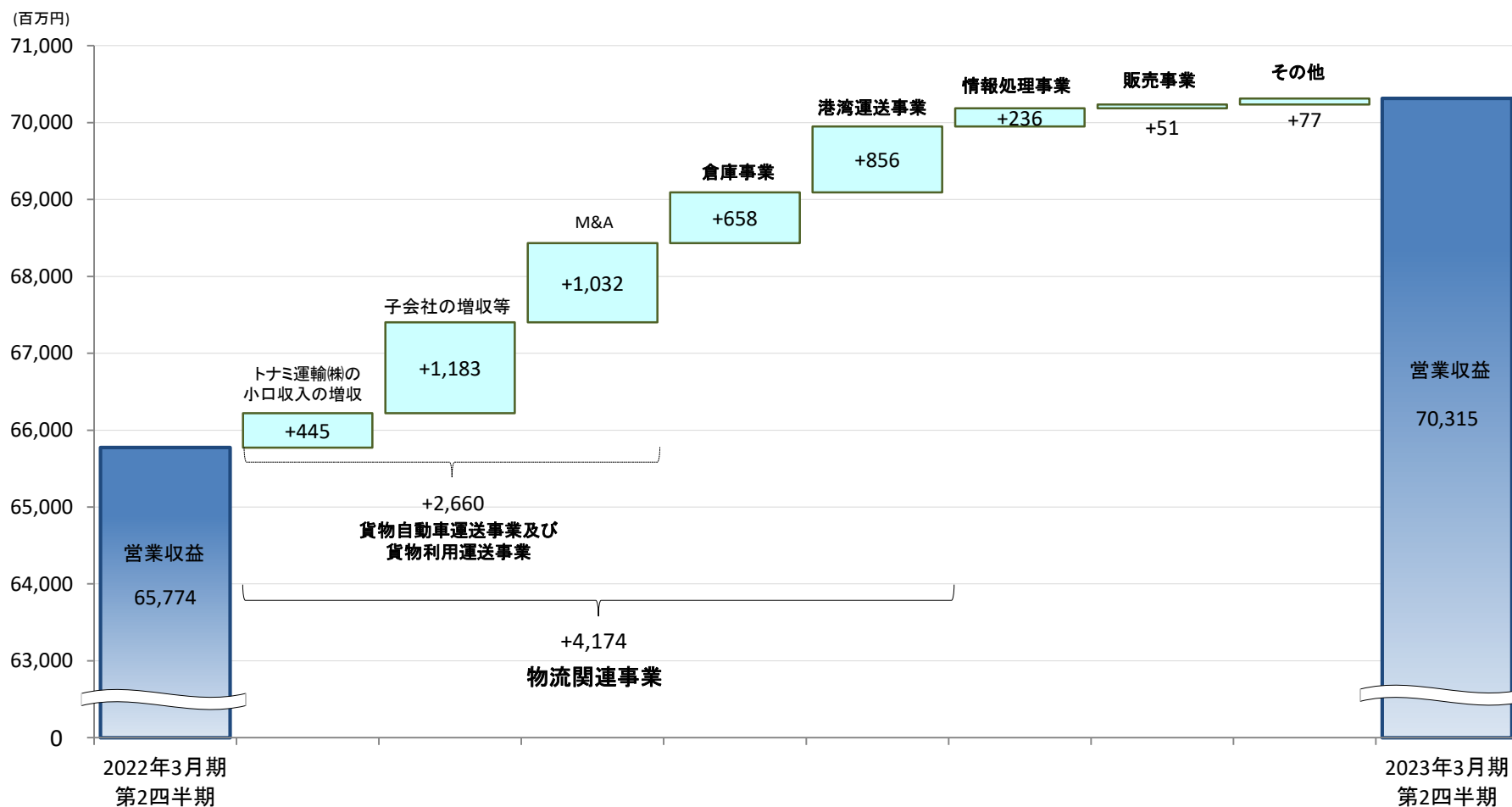


その他

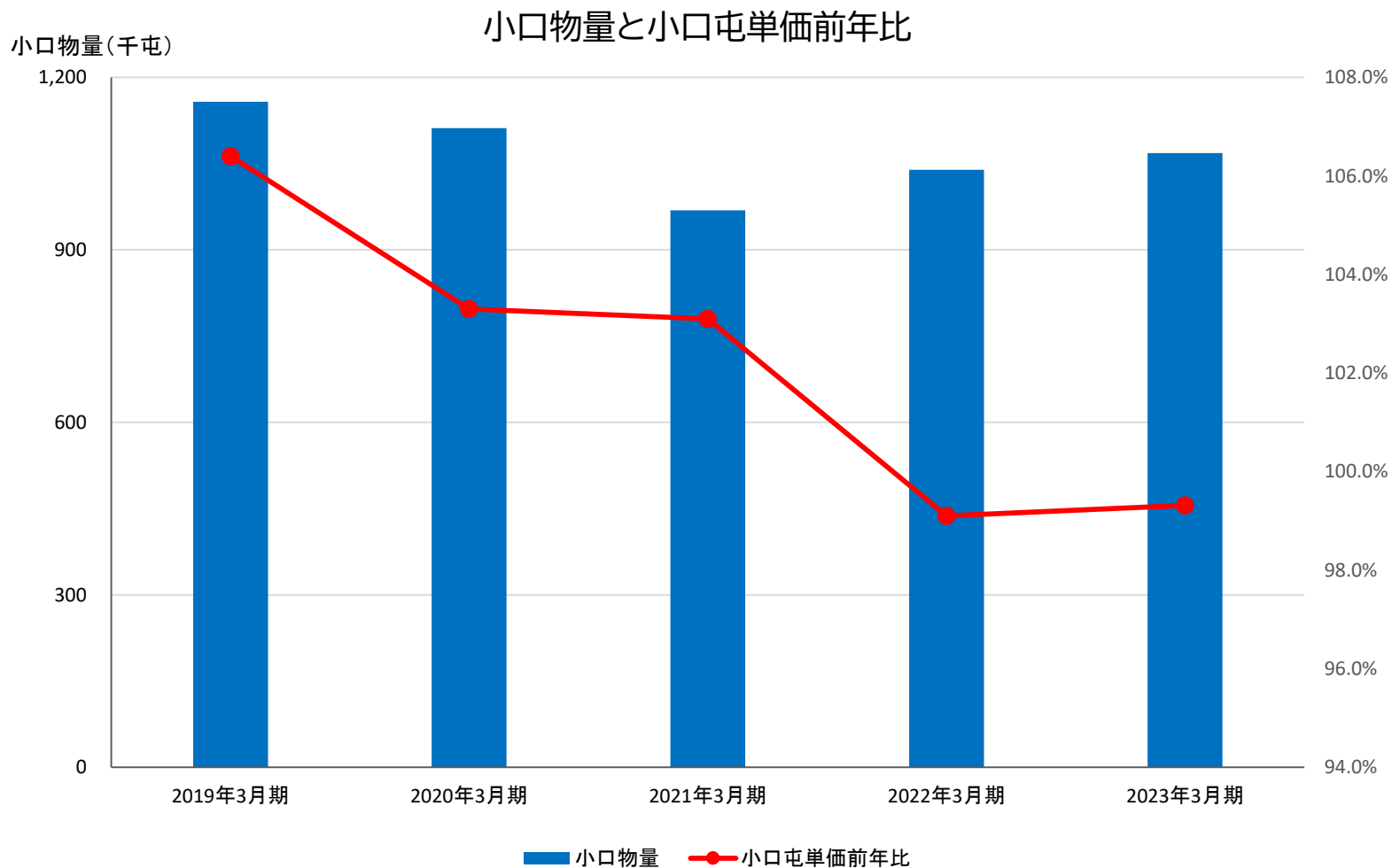


2023年3月期第2四半期 営業収益の増減要因

営業収益は前期比較6.9%増、約45億円の増収



2023年3月期第2四半期 特別積合せ貨物運送事業の状況（トナミ運輸(株)）

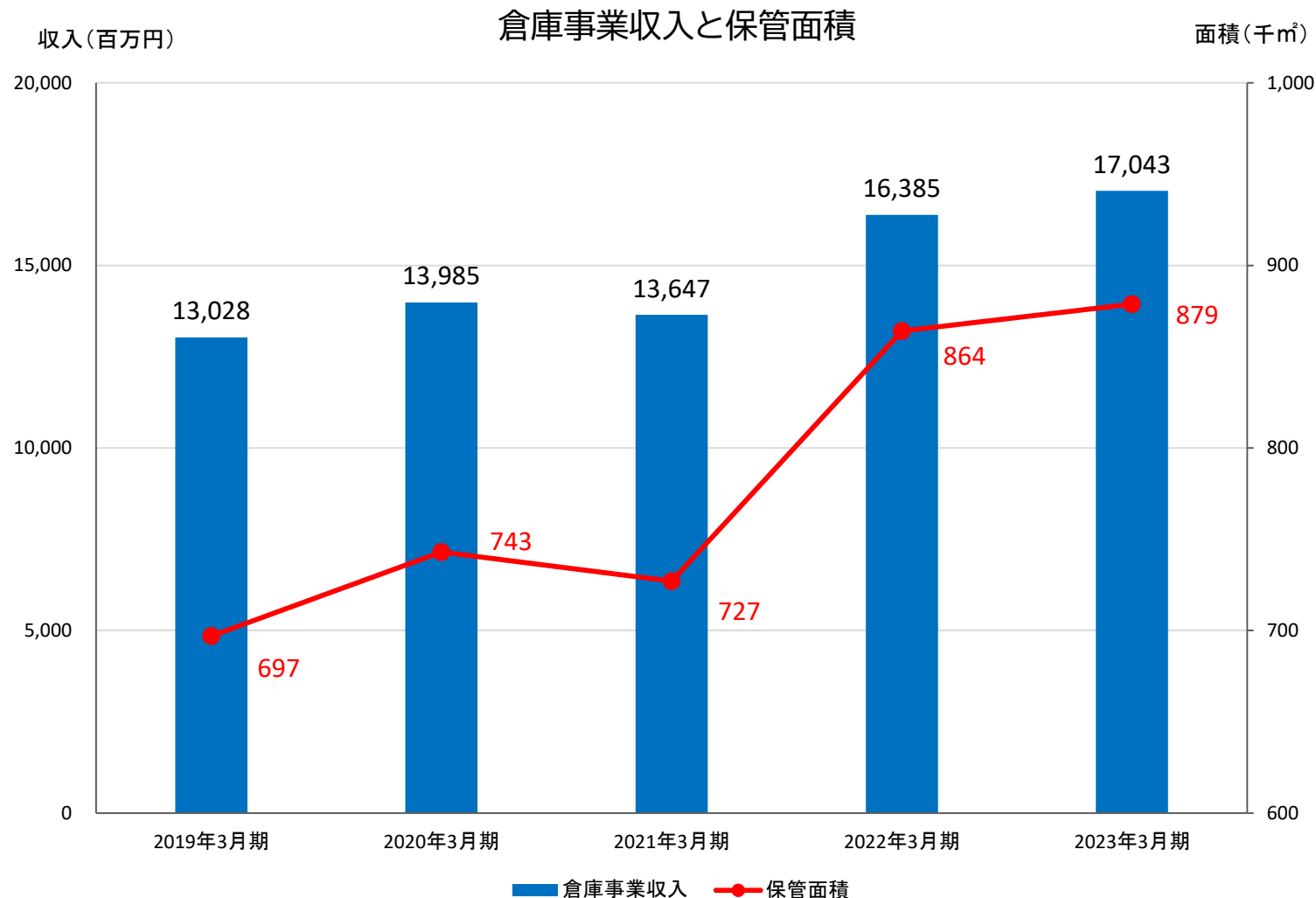


※各決算期「第2四半期」時点の状況を示しております。



2023年3月期第2四半期 倉庫事業の状況

保管面積の拡大により、倉庫事業収入は前期比4.0%増

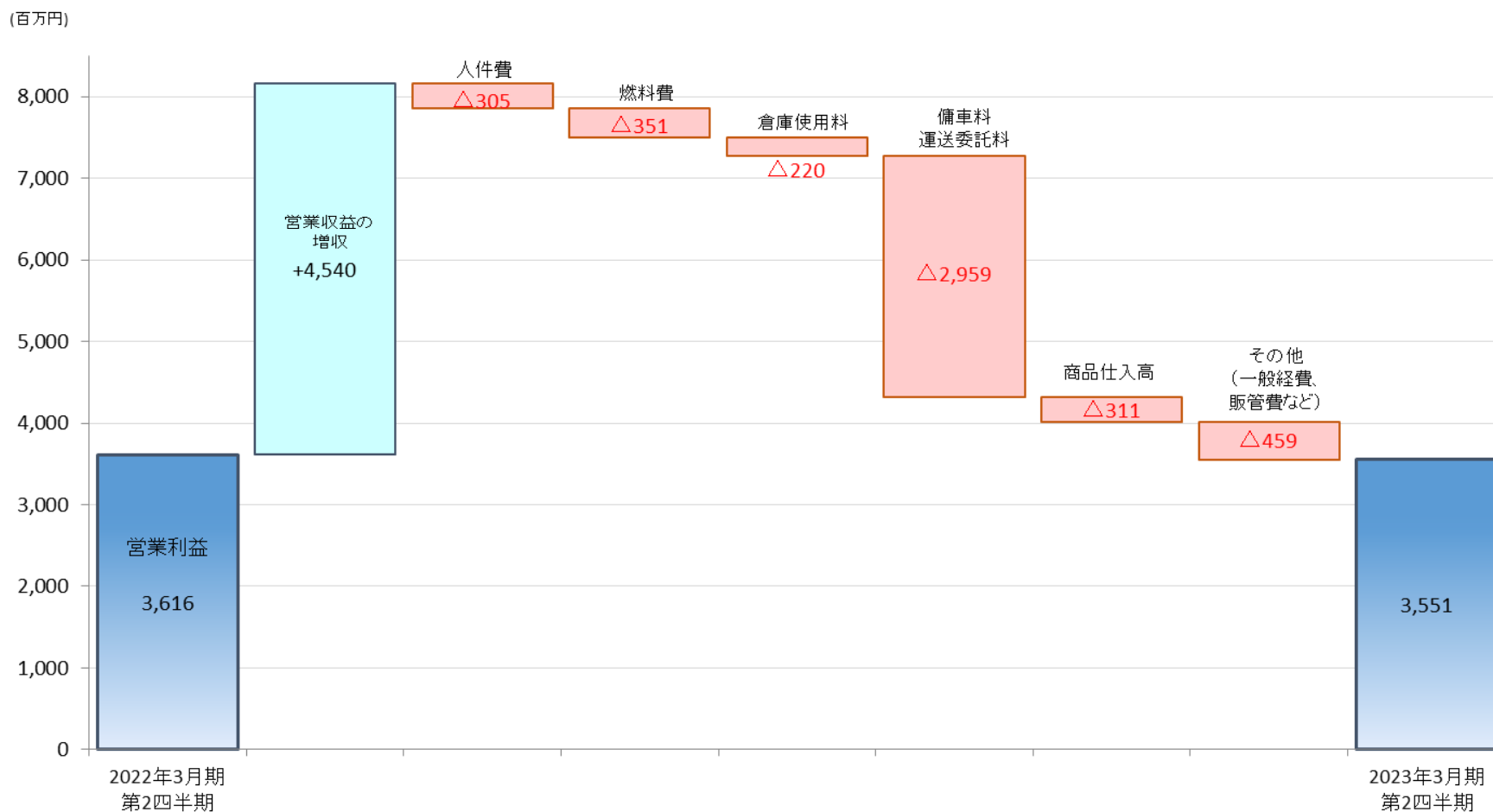


※各決算期「第2四半期」時点の状況を示しております。



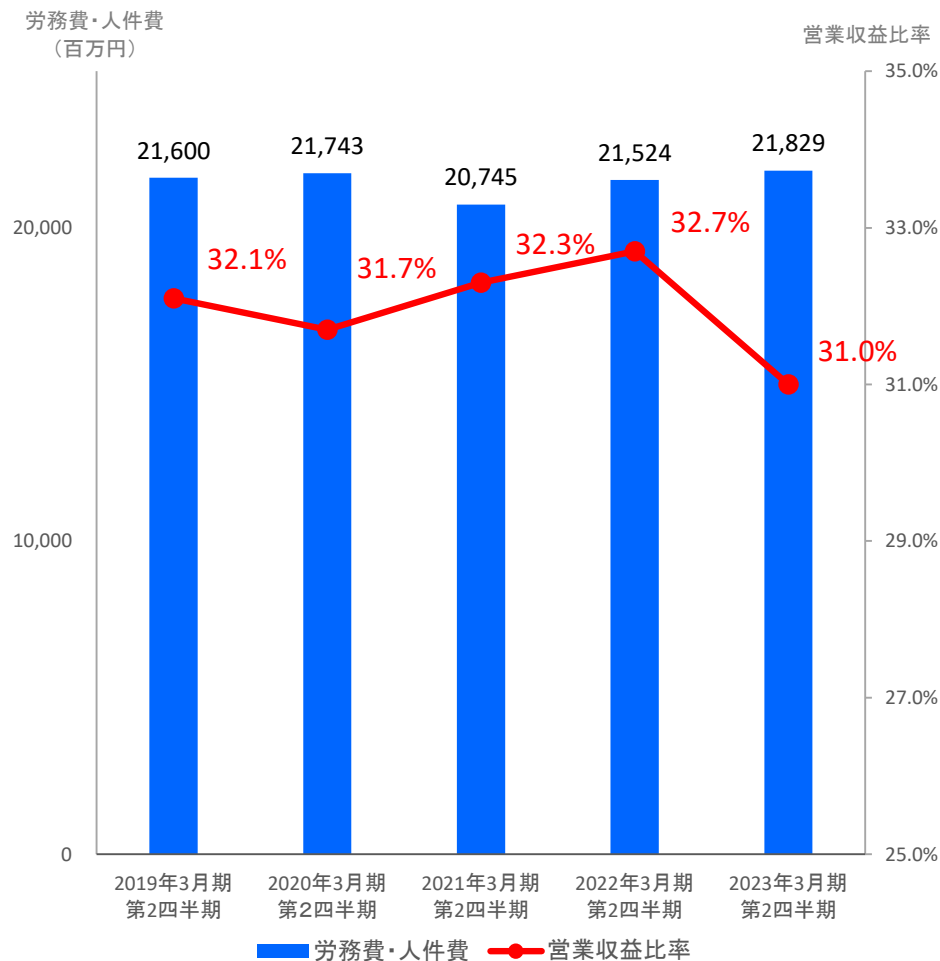
2023年3月期第2四半期 営業利益の増減要因

営業利益は前期比較1.8%減、約6千万円の減益

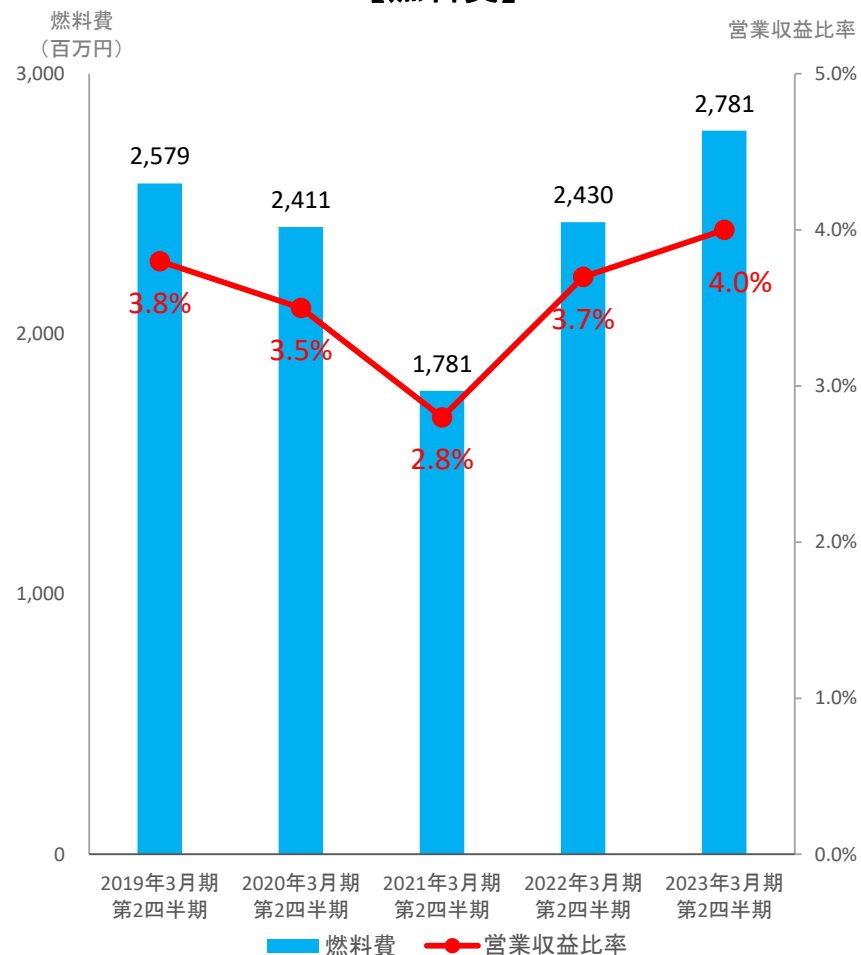


2023年3月期第2四半期 営業費用（人件費・燃料費）の推移

【労務費・人件費】

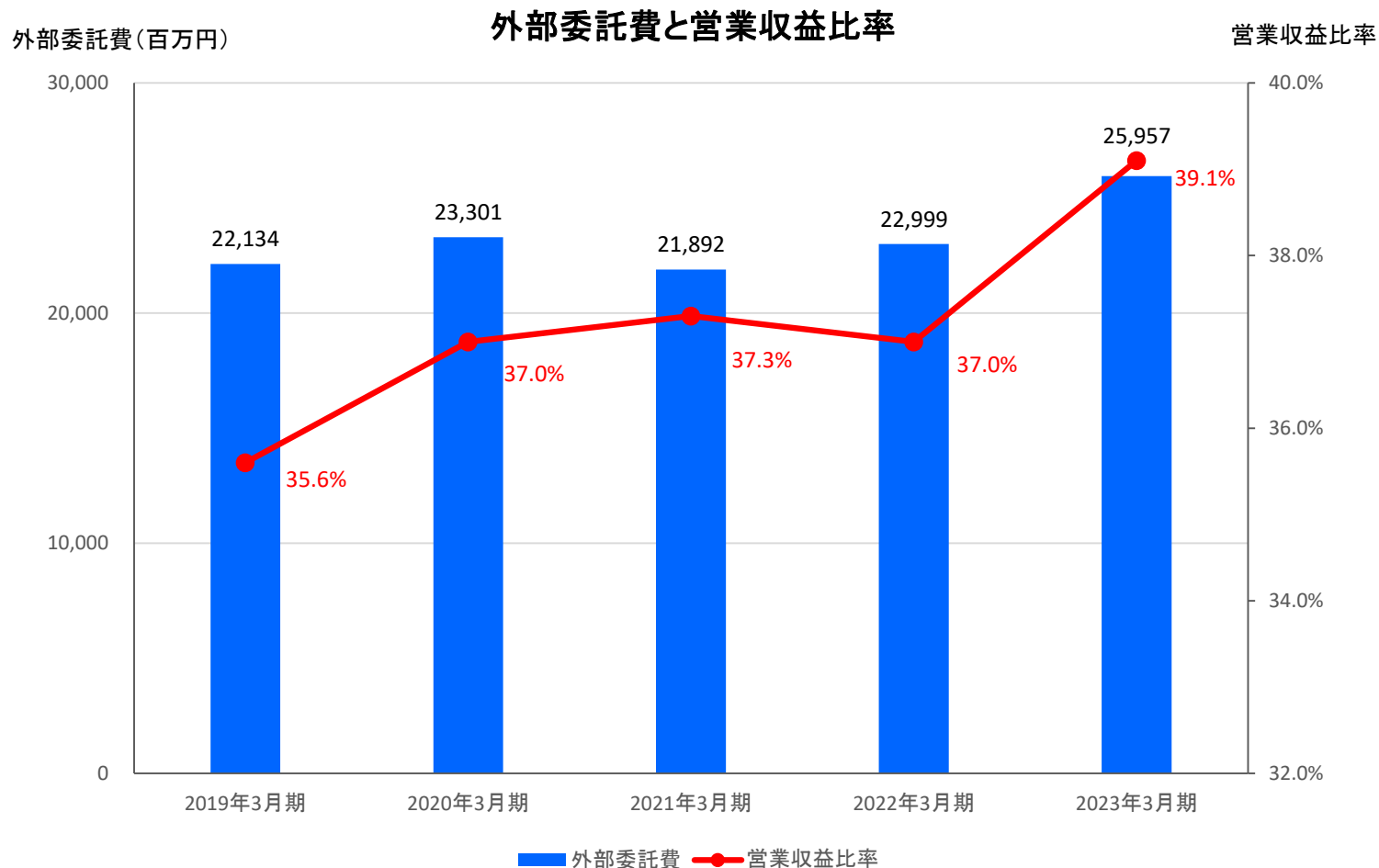


【燃料費】



2023年3月期第2四半期 外部委託の状況

2022年度上期の外部委託費の営業収益比率は前期比1.8%増



(註)外部委託費は備車料および運送委託料、営業収益比率は物流関連事業の売上に対する比率
※各決算期「第2四半期」時点の状況を示しております。

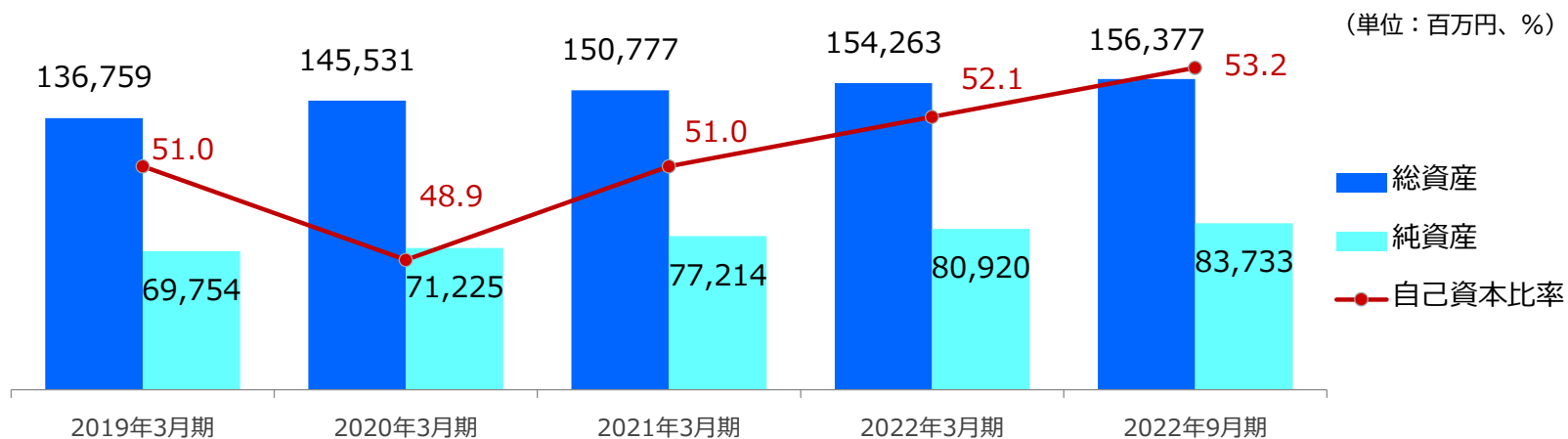


連結貸借対照表の概要

総資産は前期比較 2,133百万円増加

(単位：百万円、%)

	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2022年9月期	前期増減
流動資産	45,871	58,480	54,174	57,818	59,066	+1,247
固定資産	90,887	87,051	96,602	96,444	97,310	+865
資産合計	136,759	145,531	150,777	154,263	156,377	+2,113
流動負債	39,632	38,193	36,392	34,252	33,425	△827
固定負債	27,372	36,112	37,170	39,090	39,218	+127
負債合計	67,004	74,306	73,563	73,342	72,643	△699
純資産合計	69,754	71,225	77,214	80,920	83,733	+2,812
負債純資産合計	136,759	145,531	150,777	154,263	156,377	+2,113
自己資本比率	51.0	48.9	51.0	52.1	53.2	+1.1



1

2023年3月期第2四半期 連結決算概要

2

2023年3月期 通期連結業績予想

3

第22次中期経営計画の進捗状況



2023年3月期 通期連結業績予想の概要

営業収益は前期比較7.1%増、営業利益は前期比較5.8%増を予想

(単位：百万円)

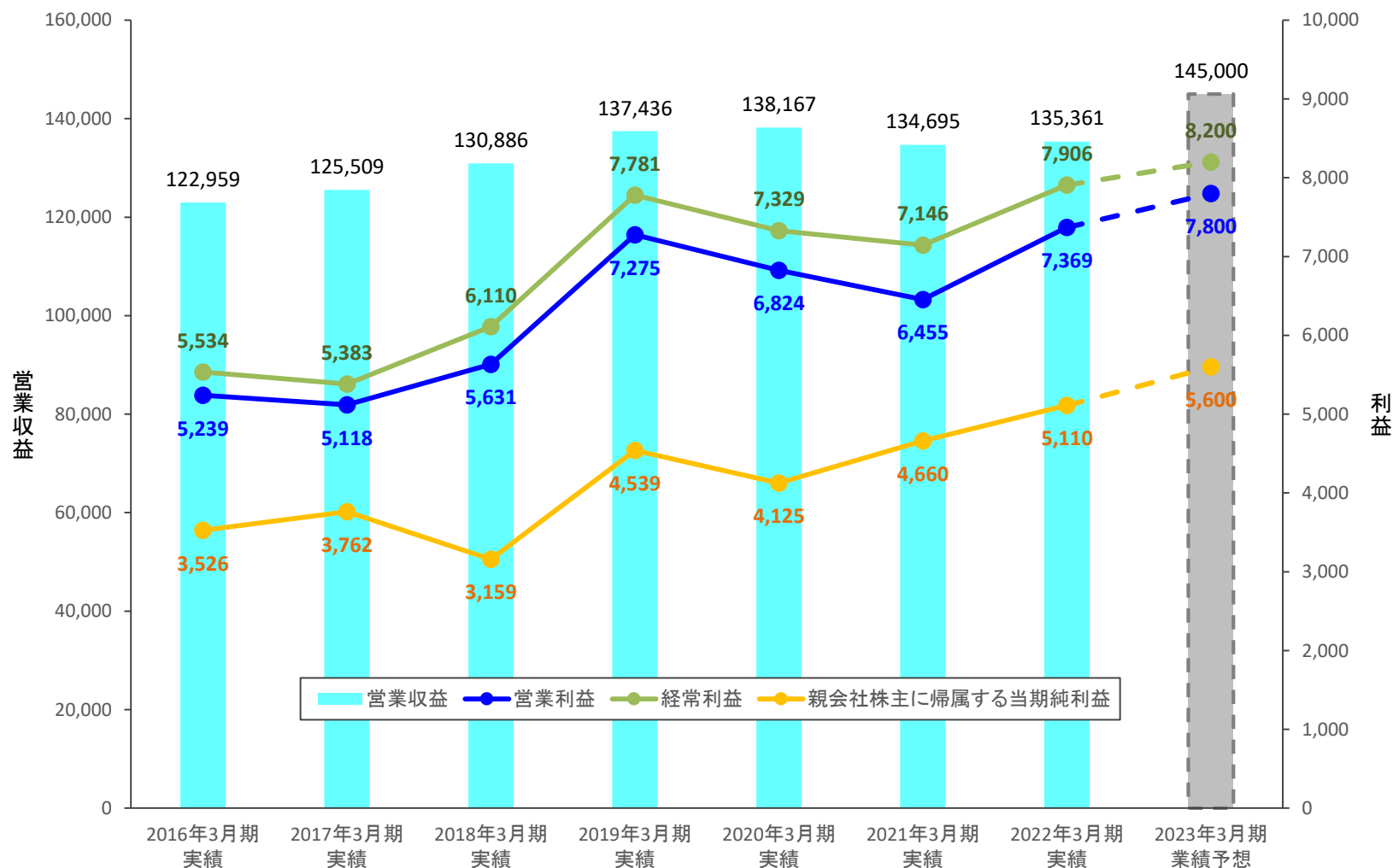
	2022年3月期 実績	2023年3月期 業績予想	前期増減	前期増減率
営業収益	135,361	145,000	9,639	7.1%
営業利益	7,369	7,800	431	5.8%
営業利益率	5.4%	5.4%	-	-
経常利益	7,906	8,200	294	3.7%
経常利益率	5.8%	5.7%	-	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,110	5,600	490	9.6%
当期純利益率	3.8%	3.9%	-	-



営業収益・利益の推移

営業収益は増収基調、利益は増益基調で推移を予想

(単位: 百万円)

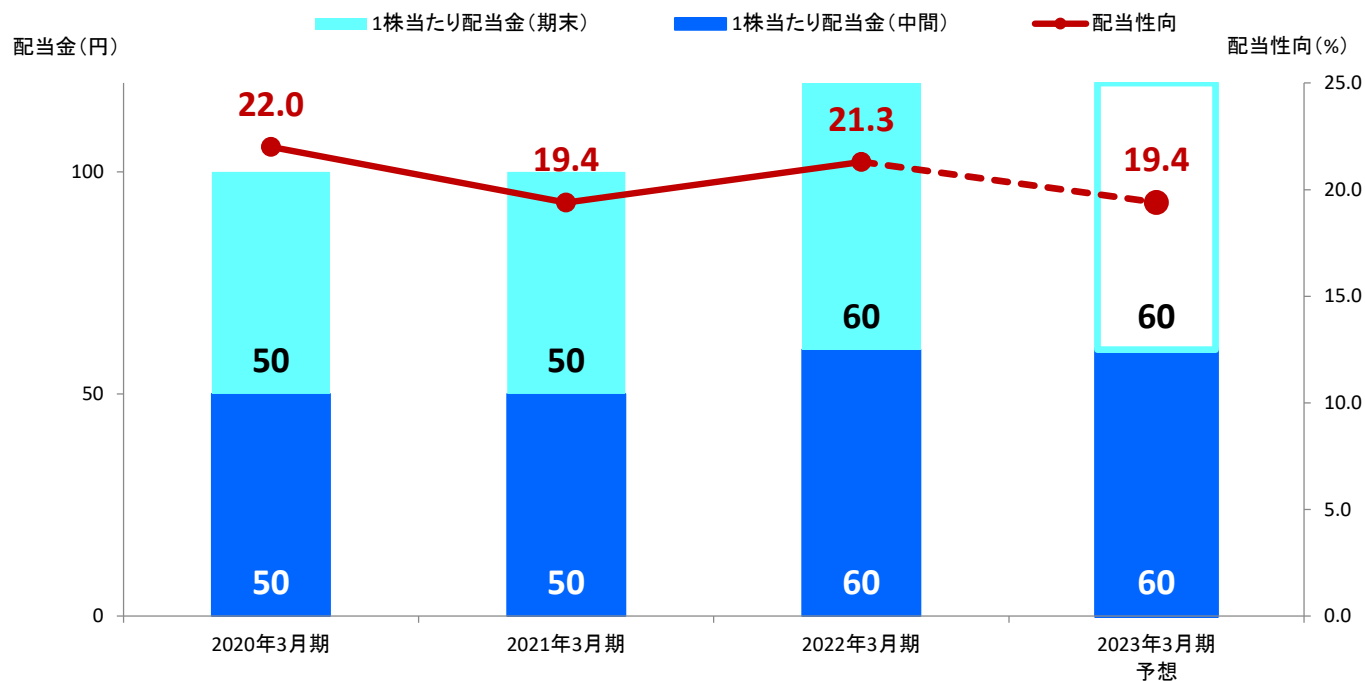


配当政策の基本方針

将来の事業展開に備えた成長投資の原資の確保

財務の健全性維持

キャッシュフローの水準等にも留意して、株主の皆様に対する安定配当を実施



1

2023年3月期第2四半期 連結決算概要

2

2023年3月期 通期連結業績予想

3

第22次中期経営計画の進捗状況



「第22次中期経営計画（2021年度～2023年度）」の概要

スローガン

TONAMI New Plan 2023

新たな社会構造の中でDXによる業務効率化を更に推進し生産性を上げ
物流サービスと輸送事業の連携強化により中長期的な成長を継続する

特別積合せの複合
ビジネスとしての
戦略展開による
ロジスティクス
ビジネスの成長

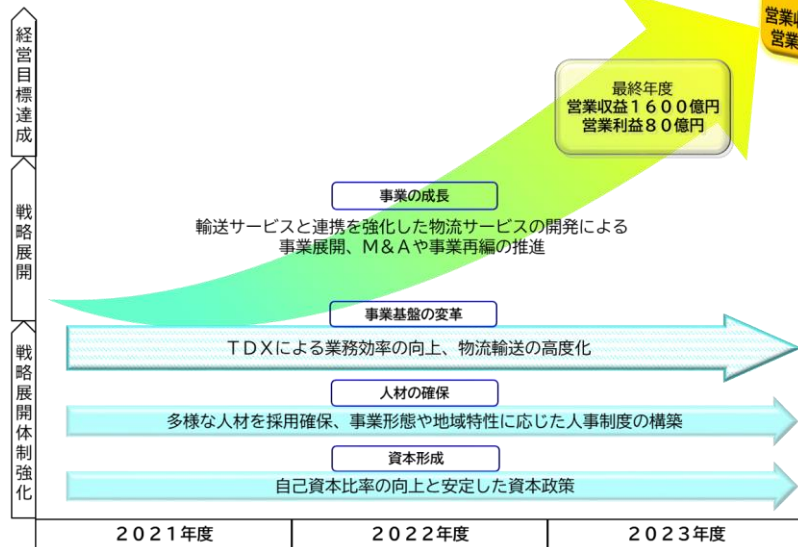
TDXによる
業務効率の向上
(TONAMI
デジタルトランス
フォーメーション)

多様な人材を採用
確保、事業形態や
地域特性に応じた
人事制度の構築

自己資本比率の
向上と安定した
資本政策

経営品質
(CSR・BCP)と
成長性(ESG)
評価や社会的
認知度の向上

戦略ロードマップ



連結業績目標

(単位：百万円)

	2020年度 実績	2023年度(最終年度) 業績目標
営業収益	134,695	160,000
営業利益	6,455	8,000
営業利益率	4.8%	5.0%
経常利益	7,146	8,300
経常利益率	5.3%	5.2%
税引後当期純利益	4,660	5,200
当期純利益率	3.5%	3.3%
ROA (総資産経常利益率)	4.8%	5.3%
ROE (自己資本当期純利益率)	6.3%	6.0%
ROIC (投下資本営業利益率) ※	4.4%	5.0%

※ROIC=[営業利益×(1-税率)]÷(株主資本+有利子負債)



第22次中期経営計画（2021年度～2023年度）」の概要

連結業績目標

（単位：百万円）

	第21次中期経営計画	第22次中期経営計画		
	（最終年度） 2021年3月期実績	2022年3月期 実績	2022年3月期目標 に対する進捗率	（最終年度） 2024年3月期目標
営業収益	134,695	135,361	96.7%	160,000
営業利益	6,455	7,369	108.4%	8,000
営業利益率	4.8%	5.4%	-	5.0%
経常利益	7,146	7,906	111.4%	8,300
経常利益率	5.3%	5.8%	-	5.2%
親会社株主に帰属 する当期純利益	4,660	5,110	113.6%	5,200
当期純利益率	3.5%	3.8%	-	3.3%



第22次中期経営計画 重点戦略

事業の成長

輸送サービスと連携を強化した物流サービスの開発による事業展開、M & Aや事業再編の推進

2023年春竣工予定

トナミ運輸(株)尼崎支店(仮)（兵庫県尼崎市）

狭隘で老朽化した現尼崎支店を、3 PL機能を大幅に増強の上、当社施設では最大の延べ床面積を持つ大型物流拠点として移転更新します。日鉄興和不動産株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：今泉泰彦）がBTS(Build To Suit)型物流施設として着工する『LOGIFRONT 尼崎Ⅲ』に入居します。

（施設イメージ図）



第22次中期経営計画 重点戦略

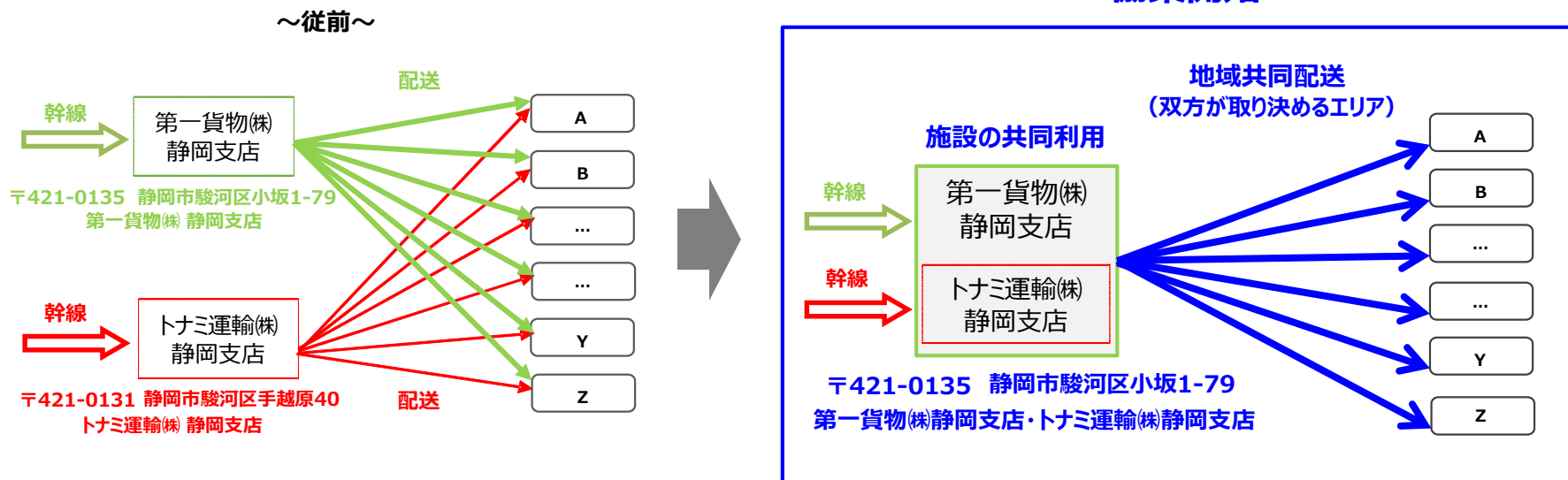
事業の成長

輸送サービスと連携を強化した物流サービスの開発による事業展開、M & Aや事業再編の推進

2022年6月から「トナミ運輸(株)」と「第一貨物(株)」が協業開始

第一貨物の静岡支店・特積み施設へトナミ運輸が入居し、ホームスペースの有効活用や付帯施設の共用をはかっています。また、地域共同配送により、双方の輸配送業務の効率化及び自社戦力の稼働効率の向上を目指していきます。

協業イメージ



第22次中期経営計画 重点戦略

事業基盤の変革

TDXによる業務効率の向上（TONAMI デジタルトランスフォーメーション）
物流輸送の高度化

集配車に通信型のデジタルタコグラフ導入完了

2022年5月末にグループのトナミ運輸・トナミ運輸中国・トナミ運輸信越の集配車約2,500台への導入を完了しました。

車両の位置情報、各時間帯での作業内容がデータとして可視化でき、ドライバーの生産性向上を目標にデータを活用した改善指導・運用に取り組んでおります。



大型ディスプレイの位置情報確認画面

顧客向けの 送り状受領票のイメージ照会サービス開始

旧来、紙・FAXベースで保管・照会していた送り状の受領票をデジタルイメージで保管することで、パソコン上で照会を可能にし、照会元および照会先事業所間での電話、受領票検索作業の大幅な短縮を実現しております。

先行して社内での相互照会で利用していたものを、今年度より契約荷主様向けに開放し、お客様へのサービスの強化と省力化を更に進めました。

下期の導入予定システムについて

2022年度中にweb請求書のサービス開始を予定しています。顧客満足度の向上及び経理業務の工数削減、ペーパーレスの推進に寄与するものです。

第22次中期経営計画 重点戦略⑤

経営品質の向上

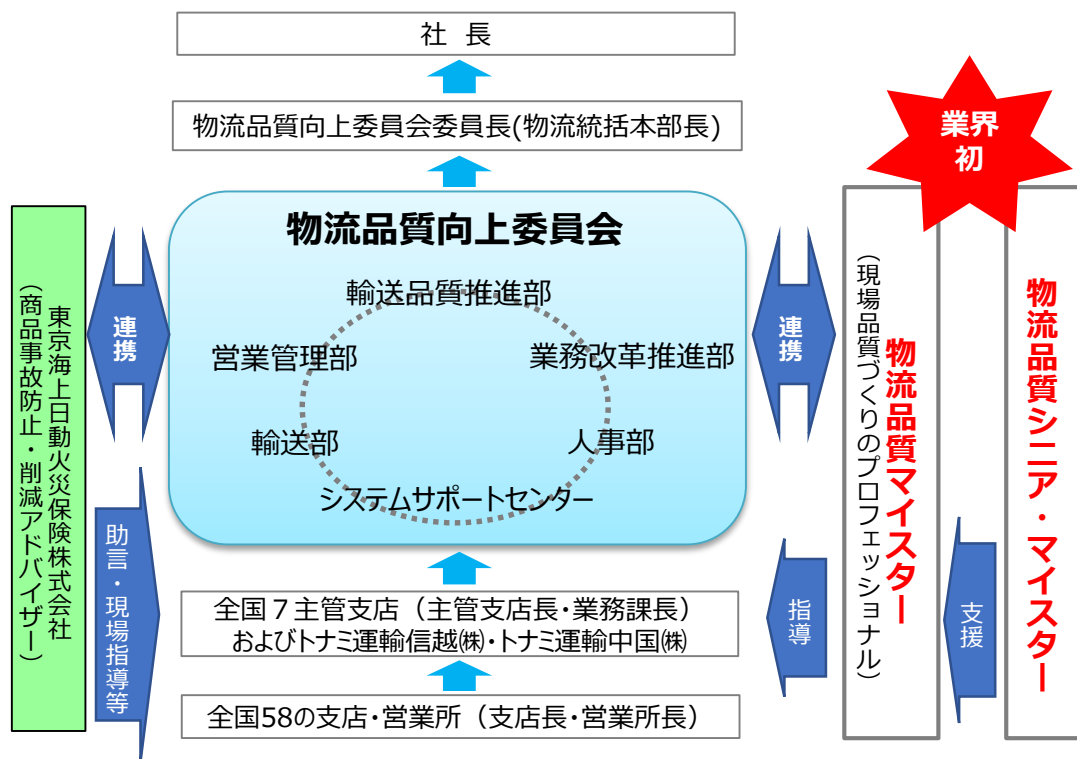
経営品質（CSR・BCP）と成長性（ESG）評価や社会的認知度の向上

物流品質マイスター制度

トナミ運輸の全事業所の品質の標準化と向上を図ることを目的に物流“安心”品質づくりの高いノウハウと経験をもつ店所長を「物流品質マイスター」として認定する業界初の制度です（2009年9月導入）。

2020年からは、マイスターOBの中から、シニアマイスターを任命して、現役マイスターの支援も行っています。

～トナミ運輸の品質管理部門体制～



異常商品写真共有システムの導入

トナミ運輸では、ドライバーが使用する携帯端末で商品の写真を撮影することにより、事務員がその写真をパソコンで共有できるシステムを構築しました。お客様への早期連絡、社員の意識向上につながっています。



第22次中期経営計画 重点戦略

経営品質の向上

経営品質（CSR・BCP）と成長性（ESG）評価や社会的認知度の向上

脱炭素への取り組み

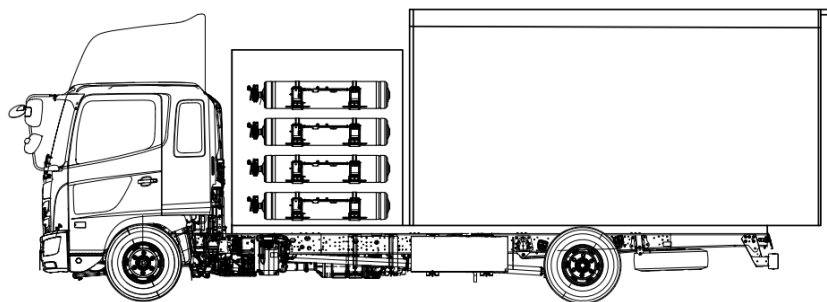
TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）提言への賛同



「トラック用の水素エンジン化事業性検証プロジェクト」 ディーゼルエンジン並みの出力を達成

トナミ運輸(株)は、(株)フラットフィールド、東京都市大学、北酸(株)、(株)早稲田大学アカデミックソリューションとの共同研究により、トラック用の水素エンジンがディーゼルエンジン並みの出力を得ることに成功しました。

開発した水素エンジンを搭載した車両を2022年度中に完成させ、2026年度の実用化を目指しています。



水素エンジンを搭載した水素トラックのイメージ

トナミ運輸の幹線輸送で 「リニューアブルディーゼル」を実証利用

トナミ運輸(株)は、伊藤忠エネクス(株)、(有)佐藤石油店と、カーボンニュートラルにむけた取組みとして、佐藤石油店の飛島トラックステーションにリニューアブルディーゼル※(以下「RD」)の給油拠点を設置し、トナミ運輸の幹線輸送で実証利用しました。

トナミ運輸相模支店と中京エリアの事業所間の運行ルートにおいて、従来の軽油に代わる代替燃料としてRDを使用し、利用可能性を検討しています。

※リニューアブルディーゼル(RD)：廃食油や動物油などを原料として製造され、温室効果ガスの排出量が軽油比約90%削減を実現する次世代燃料



リニューアブルディーゼルを使用する運行車



設備投資・減価償却費の概要

計画期間（2021年度～2023年度）の投資計画は次のとおり

項目		金額
土地	特積み新店所、新倉庫	10億円
施設	特積み新店所・新倉庫、増改築等	72億円
機械	システム投資、サーバー代替等	16億円
その他	車両代替等	102億円
3ヶ年合計		200億円



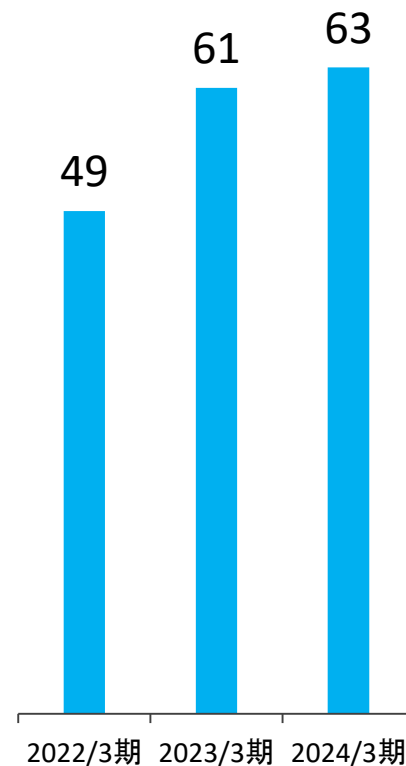
(単位：億円)

【投資額(計画)】



(単位：億円)

【減価償却費(計画)】



ESGの取り組み

SDGsの取り組みは以下のとおり

項目	CSR重要課題	関連するSDGs
安全	輸送の安全確保	 
	物流品質向上	  
環境	カーボンニュートラルへの取り組み	        
	環境マネジメント	
	リサイクルの推進	
社会	地域社会とのコミュニケーション	       
	働きやすい職場づくり	
	ダイバーシティ＆インクルージョン	
ガバナンス	コーポレートガバナンスの強化	 
	コンプライアンスの推進	



ご清聴ありがとうございました



トナミホールディングス株式会社

【お問い合わせ先】 経営企画グループ

TEL 0766-32-1073

E-mail : kikaku@tonami.co.jp

ホームページ : <https://www.tonamiholdings.co.jp/>

■本資料の注意点

- ・本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。投資に関する決定は、ご自身のご判断において行われるようお願いいたします。
- ・本資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関わる情報は、現時点で入手可能な情報と合理的であると判断する一定の前提に基づき当社が予測したものです。実際の業績は、様々なリスク要因や不確実な要素により、業績見通しと大きく異なる可能性があります。
- ・本資料中の情報によって生じた影響や損害については、当社は一切責任を負いません。
- ・なお、いかなる目的であれ、本資料を無断で複写複製、または転載等を行わないようお願いいたします。

